

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

報告書 No.13F1195
平成 25 年 6 月 7 日

- 申請者：(住所) 青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地
(氏名) むつ観光ホテル株式会社 代表取締役 菊池 薫
- 源泉名：下道温泉
- 湧出地：青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地湧出、源泉にて採水

1. 湧出地における調査及び試験成績

- 調査及び試験者：環境保全株式会社 角田 健一
- 調査及び試験年月日：平成 25 年 5 月 17 日
- 泉温：40.1° C (気温: 17.0° C)
- 湧出量：218 L/min (掘削動力揚湯)
- 知覚的試験：微黄色澄明、無味無臭
- pH 値：8.9

2. 試験室における試験成績

- 試験者：環境保全株式会社 伊藤綾乃
- 分析終了年月日：平成 25 年 6 月 7 日
- 知覚的試験：微黄色澄明、無味無臭 (試料採水 52 時間後)
- 密度：0.9981 g/cm³ (20° C/4° C)
- 蒸発残留物：0.321 g/kg (110° C)
- pH 値：9.2
- 電気伝導度：30 mS/m

3. 試料 1kg 中の成分・分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
水素イオン	(H+)	-	-	-
ナトリウムイオン	(Na+)	65.8	2.86	98.96
カリウムイオン	(K+)	0.5	0.01	0.35
カルシウムイオン	(Ca2+)	0.3	0.02	0.69
陽イオン計	-	66.6	2.89	100

(2) 陰イオン

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ化物イオン	(F-)	1.5	0.08	2.63
塩化物イオン	(Cl-)	43.6	1.23	40.46
臭化物イオン	(Br-)	0.1	0.00	0.00
水酸化物イオン	(OH-)	0.1	0.01	0.33
硫酸イオン	(SO4 2-)	22.2	0.46	15.13
リン酸水素イオン	(HPO4 2-)	2.7	0.06	1.97
炭酸水素イオン	(HCO3 -)	20.8	0.34	11.19
炭酸イオン	(CO3 2-)	25.8	0.86	28.29
陰イオン計	-	116.8	3.04	100

(3) 遊離成分・非解離成分

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸	(H2SiO3)	222.1	2.84
メタホウ酸	(HBO2)	0.8	0.02
非解離成分計	-	222.9	2.86

溶存物質（ガス性のものを除く）：0.406g/kg

(溶存ガス成分)

成分	記号	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素	(CO2)	-	-
遊離硫化水素	(H2S)	-	-
溶存ガス成分計		-	-

成分総計：0.406g/kg

その他微量成分

成分	記号	値	単位
リチウムイオン	(Li+)	<0.1	mg/kg
アンモニウムイオン	(NH4+)	0.05	mg/kg
マグネシウムイオン	(Mg2+)	< 0.1	mg/kg
アルミニウムイオン	(Al3+)	0.05	mg/kg
マンガンイオン	(Mn2+)	<0.005	mg/kg
総鉄イオン	(Fe2++Fe3+)	0.02	mg/kg
銅イオン	(Cu2+)	<0.05	mg/kg
亜鉛イオン	(Zn2+)	0.027	mg/kg
カドミウムイオン	(Cd2+)	< 0.001	mg/kg
鉛イオン	(Pb2+)	<0.001	mg/kg
ヨウ化物イオン	(I-)	<0.1	mg/kg
亜硝酸イオン	(NO2 -)	< 0.05	mg/kg
硝酸イオン	(NO3 -)	< 0.1	mg/kg
総ヒ素	(T-As)	0.001	mg/kg
総水銀	(T-Hg)	< 0.00005	mg/kg

4. 泉質：アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）

5. 禁忌症、適応症等は別表に示す

温泉成分分析登録機関

- 登録機関：青森県第3号
- 名称：環境保全株式会社
- 代表取締役：大山 清悦
- 住所：青森県平川市松崎西田41-10
- TEL：0172-43-1100（代）
- FAX：0172-43-1166

温泉分析書別表

I. 源泉名

- ・下道温泉

II. 源泉所在地

- ・青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地

III. 温泉分析申請者

- ・むつ観光ホテル株式会社
- ・代表取締役 菊池 薫
- ・青森県むつ市大字田名部字下道 4 番地

IV. 泉質

- ・アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）

② 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症

1. 温泉の一般的禁忌症（浴用）

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

2. 泉質別禁忌症（浴用の禁忌症）

一般的の禁忌症に準ずる

3. 療養泉の一般的適応症（浴用）

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器疾患、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

4. 泉質別適応症（浴用の適応症）

一般的の適応症に準ずる

浴用の一般的注意事項

1. 温泉療養を始める場合は、最初の数日間の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
2. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
3. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に**湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）**が現れることがある。
 - 「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
 -
4. 以上のはか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - ア. 入浴時間：入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
 - イ. 安静：入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - ウ. 温泉成分：入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に入浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。
 - エ. 湯冷めと安静：入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
 - オ. 高温浴（42°C以上）の禁忌：次の疾患については、原則として高温浴（42°C以上）を禁忌とする。
 - 高度の動脈硬化症
 - 高血圧症
 - 心臓病
 - カ. めまい等：熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意する。
 - キ. 食事：食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - ク. 飲酒：飲酒しての入浴は特に注意する。